

令和8年4月

令和8年度に向けた改善策

(学校関係者評価委員会評価結果の報告を受けて)

学校関係者評価委員会委員の皆様にはご多用中にもかかわらず、学校評価アンケート、自己評価などのデータをもとに分析検討をしていただき「学校関係者評価委員会報告書」をご提出いただきありがとうございました。深く感謝申し上げます。

ご提出いただいた報告書をもとに改善策を考え、令和8年度の学校経営に生かしてまいります。

1 学習指導について

令和7年度も「わかりやすく授業を行う」ことを重点目標として、ICT機器を活用し、生徒の主体的な活動を取り入れた授業の実施を目指してまいりました。

学習指導に関しては、授業のあり方に関しては生徒の評価も高い状況を継続しておりますが、「学ぶことは楽しい」に関しては否定的評価が1/4程度ある状況であり、学ぶ楽しさにつながる授業のあり方を検討してまいります。

また、保護者の評価においては肯定的評価が（前年度よりは高くなっているが）目標値（70%）に届いていない状況を真摯に受け止め、より様々な機会を活用して、保護者や地域の皆様にも生徒の学習の様子を知っていただくために、学校からの情報の発信方法について工夫して、日常の授業の様子、評価について知らせる努力を続けてまいります。

2 生活指導について

生徒・保護者ともにすべての設問で肯定的評価が高い状況を維持しており、良好な状況を継続しています。今後も引き続き一人一人の生徒を大切に、きめの細かな丁寧な指導や支援を組織的に行ってまいります。

しかし、「自分の意見を他人に対して伝えることのできる。」に対して否定的評価が2割以上あることを真摯に受け止め、意見表明と意見尊重の必要性、ルールは一方向的に与え

られるものではなく、「こども基本法」の理念を踏まえ自分たちで考え作っていくものであることが実感をもてる指導を心がけてまいります。

3 学校行事について

生徒・保護者ともに肯定的評価が高い結果となっています。これからも、生徒一人一人の心身の成長につながる取り組みであることを基本とし、それぞれの行事の意義、負担等を踏まえて取り組んでいきます。

しかし、生徒の「私は企画を立てたらそれをやり遂げる自信がある。」に関しては肯定的評価が71%であるところも踏まえて、生徒の意欲を大切にする、意見を聞く、選ぶ、考える機会を設けるよう見直しを行い、生徒の自己肯定感を高める取り組みとなるよう精選して取り組んでまいります。

4 キャリア教育について

2年生の職場体験の実施、キャリアパスポートの活用が小学校時代から導入されていた状況などから少しずつ肯定的評価が増えてきている状況も見られるがまだ十分とは言えない状況です。これからもキャリアパスポートの実質的な活用方法、1年生の段階からの各教科を含めた体系的なキャリア教育を検討していくとともに、キャリア教育に関する丁寧できめ細かい説明を生徒・保護者に行ってまいります。

5 教職員について

「先生たちは、生徒にていねいに指導している」に対して生徒・保護者の肯定的評価が高いことに関しては、今後も慢心することなく継続して取り組んでまいります。

また、「先生たちに相談しやすい」「学校に親しく話すことのできる先生がいる」に対して否定的評価が20%、15%と昨年度よりは改善されているが未だ一定数いることに関しては真摯に受け止めます。「ていねいな指導」は行われているが、「相談しやすい」とは必ずしも思えない状況である点を受け止め、改善を行うとともに、生徒・保護者に寄り添い丁寧な指導を心がけてまいります。

6 全般について

生徒の「学校生活は、楽しい」は、9割以上の肯定的評価、「学校生活は達成感がある」という設問に対しても8割以上の肯定的評価は高い状態を維持している。また、「学校行事は、達成感がある」の肯定的評価が96%、日常生活の中で達成感が得られる、感じられる学校生活（自己肯定感や自己有用感を感じられる活動）を継続・推進してまいります。

7 部活動について

「部活動は楽しい」「部活動は達成感がある」の両設問に生徒は肯定的評価が80%今後も、部活動に関しては国や地域の方針を踏まえ、外部指導員等も活用しながら、部活動の意義を踏まえ、生徒にとって魅力ある活動、心の成長につながる活動になるよう努めてまいります。

8 学校からの情報提供について

今後も的確でタイムリーな情報発信を、印刷物、ホームページ、すぐーる等、その時々 にふさわしいツールを活用して発信し、本校の教育活動についてのご理解をいただく努力をしてまいります。

9 学校運営について

昨年度より「指導の重点を伝えている」は7ポイント肯定的な評価が増加したが、まだ十分な情報提供とは言えない状況である。

また、「学校からの情報提供について」とも関連しますが、今後も学校の教育方針や指導の重点等についても保護者に向けた積極的な情報発信、地域に向けた情報提供の方法の工夫、改善を心がけてまいります。

10 家庭と学校との連携について

「本校は、保護者に指導の重点を伝えている。」の評価と比べて、「今年度の学校の指導の重点を理解している。」の評価が低い状況が継続しています。「情報提供」が「指導の重

点の理解」に十分につながっていないと思われます。「情報提供」に関する工夫、改善をその時々で様々な工夫をしながら、家庭と学校が同じ方向を向いて、生徒の成長のために連携をしながら教育活動を推進してまいります。

Ⅰ Ⅰ 地域との連携について

依然として「分からない」の割合は多い状況です。地域行事やボランティア活動に対する意識の高い生徒が多いのも本校の特長です。今後も各種ボランティア活動への参加を積極的に奨めるとともに情報発信に努め、保護者への参加呼びかけを工夫するなど地域との連携を進めてまいります。

Ⅰ Ⅱ 学校の安全性について

昨年度とほぼ同程度の評価でした。（保護者の「避難訓練やセーフティー教室などで、子どもに安全に関する指導をしている」は肯定的評価が5ポイント増）

今後も日頃の避難訓練や安全指導を含め、安心安全な学校生活が送れるように指導するとともに、保護者、地域とも連携を進めてまいります。

◎おわりに

重点目標とした８項目に関しての結果は以下のとおりであった。

○…「達成」 ●…「未達成」

回答者	重点目標における項目と数値目標	令和７年度 結果	達成 状況	(参考) 前年度	前年度比
生徒	「学校生活は、楽しい」を <u>90%</u> 以上とする。	91%	○	89%	+2
	「烏山中学校が好きである」が <u>90%</u> 以上とする。※独自項目	92%	○	89%	+3
保護者	「本校の学校生活は、子どもにとって楽しい」が <u>90%</u> 以上とする。	89%	●	82%	+7
生徒	「先生は、わかりやすく授業をしている」※ ¹ が <u>90%</u> 以上とする。	93%	○	94%	-1
保護者	「本校は、分かりやすい授業をしている」※ ² が <u>70%</u> 以上とする。	66%	●	54%	+12
生徒	「本校はあいさつをよくする学校である」が <u>80%</u> 以上とする。	94%	○	90%	+4
保護者	「本校はあいさつをよくする学校である」が <u>80%</u> 以上とする。	84%	○	74%	+10
地域	「本校はあいさつをよくする学校である」が <u>80%</u> 以上とする。	66%	●	63%	+3

※¹ 「先生は、映像やタブレットなどのＩＣＴを利用し、分かりやすい授業をしている」

※² 「本校は、映像やタブレットなどのＩＣＴを利用し、分かりやすい授業をしている」

ほとんどの項目に対して改善はされているが、数値目標を達成することのできなかった項目が３項目あることは不十分な点として真摯に受け止めます。

この結果を踏まえ、令和８年度も本校の良き伝統と校風の下、地域に根ざし地域とともに地域から信頼される学校を目指し、生徒・保護者、教職員そして多くの地域関係者の皆様と力を合わせ、さらに成長・発展する駒留中学校になるよう引き続き努力してまいります。

今後とも本校の教育活動に対するご理解とご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。